

令和5年度 第5回三木市部活動の在り方検討会議 議事録（要旨）

1 日 時 令和6年3月18日（月）19:00～20:00

2 場 所 三木市役所 5階大会議室

3 出席者 委 員

会 長 森田 啓之 兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授

副会長 坂田 直裕 中学校体育連盟代表校長

岸本 博介 スポーツ協会理事長

井上 薫 (公財)スポーツ振興基金理事

石田 親吾 三木市吹奏楽連盟理事

松村 正和 三木市合唱連盟会長

前田 義典 小・特別支援学校校長会代表

生田 淳仁 中学校校長会代表

沖 徹也 運動部顧問代表

大橋 純子 文化部顧問代表

藤枝 広起 三木市連合 PTA 理事

事務局

大北由美教育長、本岡忠明教育総務部長、鍋島健一教育振興部長

手島三知子文化・スポーツ課長、田中智美学校教育課長

山口正明学校教育課主幹、村田政宜文化・スポーツ課主事

杉田博久学校教育課学校指導係長

4 協議事項

「三木市における今後の学校部活動及び地域クラブ活動の展開についての意見書（案）」
の確認及び意見交換

(1) 三木市における部活動の現状

(事務局)

・「(1) ① (例)」の後半、「また、令和4年度の新人大会以降は、野球とサッカーが、3校合同のチームで参加した。」に変更願う。

(2) 文化・スポーツ活動を通して子どもたちに育成したいこと

※変更なし

(3) 地域クラブ導入の方向性

(事務局)

・「(2) 活動費用」について、前回の協議内容を受け、団体に対する支援だけではなく「子どもたち及び保護者の不安や懸念が低減されるよう、検討する。」を追記した。

- ・「(4) 地域移行の実施時期」について、地域クラブ活動の展開は十分な準備を整えて進めていくこと、先延ばしにしていけないことが重要であることをまとめた。
- ・「(5) 地域クラブを総括する組織」について、前回の協議で具体的な役割についてご意見を頂いたので、追記した。また、子どもたちの意見を反映できる体制づくりの大切さについてご意見を頂いたので、追記した。

(委員)

- ・「1つ」と「一つ」が混合しているので、統一するほうがよい。

(事務局)

→・漢数字の一つに統一する。

(委員)

- ・「(2) 活動費用」について、ほとんどが「検討する」と書いている中、ここだけ「示す」を入れているが理由はあるか。

(事務局)

→・今までのご意見の中でやれることやれないことをはっきりと示していくことが大事であるとあったので、それを意識するために「示す」を入れた。しかし、検討していくことには変わりはないので、「検討する」に統一する。

(委員)

- ・「(1) 活動内容や方法」について、「ニーズ別活動プログラム」とあるが、細かくカテゴライズしていくのではなく、さまざまな状態に合わせて考える必要があるので、「ニーズに応じた活動プログラム」という表現のほうがよい。

(副会長)

- ・「(4) 地域移行の実施時期」について、表現はこれでよいが、ある程度時間軸がはっきりすることで、学校現場では子どもたちの文化・スポーツ環境の整備のために何ができるのかを考えていく、具体的に動いていくことができると思うので、ガイドラインの作成の中で示していけるように検討いただきたい。

(4) 多様性のある「文化・スポーツ活動」の環境づくり

(事務局)

- ・「(3) ア 活動プログラムの充実」について、前回、地域クラブの在り方の一つとして公民館活動を活かしていくことも重要と意見を頂いたので、追記した。
- ・「(3) ウ 広報の必要性」について、前回、地域団体等にご理解いただき、協力を得ることが重要と意見を頂いたので、追記した。
- ・「(5) 地域クラブを総括する組織」について、前回の協議で具体的な役割に関するご意見を頂いたので、追記した。また、子どもたちの意見を反映できる体制づくりの大切さについてご意見を頂いたので、追記した。

(委員)

- ・地域クラブ活動に参加するのは授業が終わってからになるかと思うが、例えば教室などで自分が参加したい活動の開催時間が昼間などの場合は、どう参加すればよいのか。

(副会長)

→・子どもたちにとっては授業があり、それは大事なので、例えば、夏休みなどの長期休業中に参加するという方法が考えられる。普段は参加できないので、その時には違った活動をするのも多様性のある活動と捉えることができる。子どもたちがさまざまな選択ができるように多様性のある「文化・スポーツ活動」の環境づくりを整えていく必要がある。また、活動団体には子どもたちが継続して参加はできないことも理解していただき、受け入れてもらえるように、啓発活動をしていく必要がある。

(会長)

・地域の受入団体も高齢化してきており、人がいない状況でもある。後継者のことを考えたら、今までのやり方を変えていただく必要があると思う。その中で、中学生が入ることで、新しい後継者が育っていく可能性につながることを周知をしていく必要がある。時間がかかると思うが、ぜひ啓発をお願いしたい。

(委員)

・表記について、文化・スポーツ活動の言葉に「」が付いている、付いていないがあるが整理願いたい。

(事務局)

→・見出しの文化・スポーツ活動の言葉には「」を付け、文章内の文化・スポーツ活動の言葉には「」を付けなくて統一する。

(5) その他 (資料について)

(事務局)

- ・資料「地域クラブ導入の方向性」について、矢印を付けていたが、一方向ではなく、つながりを持ち連携していくことを示すために太線に変更した。
- ・資料「地域クラブ導入の方向性」について、「総括する担当組織」の役割は、「P4(5)組織の運営」の内容に合わせて、変更・追記した。
- ・資料「三木市における学校部活動及び地域クラブ活動の展開イメージ案」について、関係組織等が行う内容と新たな地域クラブの行う内容を整理し、示し直した。

(委員)

・資料「地域クラブ導入の方向性」について、前は矢印の上に情報提供や支援という言葉があったが、それをなくしても大丈夫か。

(事務局)

→・「総括する担当組織」の中に「個人・団体に対する支援の検討」とあり、そこで何ができるか全体的な検討を進め、その中に含まれていくので省略した。

(委員)

・資料「地域クラブ導入の方向性」について、中学校に入学する前の小学生にも説明していく必要があるので、「生徒」を「児童・生徒」に変更するほうがよい。

(会長)

・資料「地域クラブ導入の方向性」について、地域クラブ活動の<例>に「習い事」とあ

るが、民間の活動も含まれると誤解を与えるかもしれないので、削除するほうがよい。

(委員)

- ・資料「地域クラブ導入の方向性」について、「総括する担当組織」に「指導者の研修」とあるが、「P4(5)組織の運営」の中には記入されていないので、そこに「指導者の研修」を追記したほうがよい。

(委員)

- ・「指導員」と「指導者」の言葉が混合しているので、統一したほうがよい。

(事務局)

- 「指導者」で統一する。また、「P4(5)組織の運営」と資料「地域クラブ導入の方向性」の「総括する担当組織」について、「指導者の登録・派遣及び研修」に変更する。

(6) まとめ

(会長)

- ・今回の協議の文言の修正、標記の統一等を踏まえたうえで、案を削除し、教育委員会に提出する。

5 会長から教育長へ意見書を手交

6 教育長のあいさつ